



手城小だより

福山市立手城小学校
2024年(令和6年)
10月29日(火)

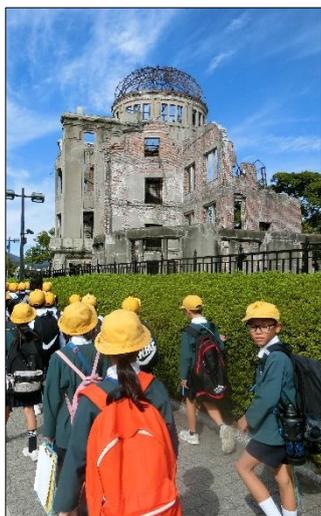
【学校教育目標】 自他を認め合い、主体的に生きる力をもった児童の育成

4年生社会見学 ー悲惨な歴史を学び・感じるー

10月25日(金)4年生が平和記念資料館と平和記念公園へ平和学習に行きました。平和記念資料館の見学では、原爆被害の実相を目の当たりにして子供たちは戦争の怖さを痛感していました。

その後、「原爆の子の像」の前で手城小学校を代表して折り鶴を捧げました。原爆ドームの周りを歩き、当時のままの状態に残されたボロボロの外壁やむき出しの鉄骨から悲惨な歴史を感じながら慰霊碑に手をあわせました。そして、原爆死没者慰霊碑の前で、石碑に刻まれた「安らかに眠ってください 過ちは繰り返しませんから」の言葉の意味を考えました。

79年前の出来事を忘れるわけにはいきません。これから、自分たちにできることは何かを考え、発信していきたいと思います。



ー見学を終えてー 4年生の感想

- 戦争は、多くの人が一瞬で焼かれ、とけて消え、家族や友達、大切な人を失くしたことを想像するだけでも、悲しくて恐ろしく、もう二度とあってはならないことだと思いました。「水、水」と助けを求める声、生きたかったのに生きれなかった人、幼くして亡くなった子供、生き残っても家族を失い被爆して苦しんでいる人、多くの人々が苦しんで、戦争の悲惨さ、残酷さを感じました。
- 見学前から、戦争はあってはならないと思っていたけど、見学を終えて、絶対に戦争をしてはいけないと強く思いました。たった一つの原子爆弾で建物が焼けて、壊れて、ヒロシマの町が焼け野原になりました。原子爆弾で被爆した原爆ドームを初めて見た時、写真で見ていた原爆ドームとは全然違うと感じました。壁や屋根が半分くらい吹き飛んでいたのを見ると、戦争の残酷さと怖さが心に伝わってきました。絶対に戦争はしてはいけないと思いました。
- 資料館を見学しました。子供が乗っていた自転車はタイヤが外れて半分以上壊れて自転車が小さくなっていました。兵隊さんの服はボロボロでした。三人の中学生の制服は、半分焼かれていてボロボロになっていました。原爆は怖いと思いました。悲しかったです。

ようこそ先輩 「大学生活と夢」

10月23日(水)6年生が本校で実地体験を行っている福山市立大学2年生の三好秀虎さん、小林柊斗さんに「大学生活と夢」をテーマに、教職をめざそうと思ったきっかけ、高校時代までのこと、大学での生活や勉強、アルバイト、サークルなどの話をさせていただきました。



一人暮らしは、洗濯も掃除も料理も一人でやらないといけません。自炊はとても大事です。1日の過ごし方を自分で自由に決められるし、勉強も遊びも何でも自由です。だからこそ自己管理が必要です。アルバイトで1時間頑張って働いても、時給はラーメン一杯分くらいです。バイト代で大学の教科書を買ったり、友達と旅行に行ったり。お金も時間も健康も大事です。親のありがたみを感じています。

小学生の時、和田校長先生との出会いがきっかけで教職をめざそうと思いました。大学では友達と集まって一緒に勉強したり、サークルに入ってワイワイやったりしています。港輝祭の制作班の班長として準備も進めています。勉強も勉強以外のことも全て大切です。みなさんには、「今」この時間と友達を大切に、自分の目標をもって頑張ってもらいたいです。



勉強はやっておいたほうがいいです。ぼくたちも、大学に入るまでに一生けんめい勉強しました。小学校で学ぶことはとても大事です。夢を叶えるために勉強と友達を大切にしてください。

手城小でみなさんに会えることをいつも楽しみに過ごしています。みなさんと出会って「小学校の先生になりたい」という気持ちがより一層強くなりました。ぼくたちも夢に向かって頑張ります。

— 6年生の感想 —

- 大学生活の厳しさや面白さを細かく教えていただきました。大学はただ勉強ばかりで楽しくないところだと思っていたけど、友達同士集まって一緒に勉強したり、食堂でご飯を食べたりして楽しいところだと思いました。私も大学に行きたいと思いました。そのために勉強を一生懸命頑張ろうと思います。
- 小学校の授業は45分だけど、大学は1時間30分もあると聞いてとても長いなと思いました。
- 5年生のときまでは、夢がありましたが、6年生になってからはその夢はだんだんなくなってしまいました。でも今日のお話を聞いて、自分がやりたいことについて考えてみようと思いました。
- 1分1分を大切に、「今」この瞬間を頑張っていこうと思いました。小学校の勉強はだるいなあと感じていたけど、お話を聞いて、小学校の勉強はとても大切だということが分かりました。大学の港輝祭にも行ってみようと思います。
- 親元を離れて一人暮らしの大変さや、アルバイト、お金の大切さが分かりました。料理や洗濯など全部一人でやらないといけないうい、ぼくも、将来一人暮らしをするようになるかもしれないので、今のうちから、家で料理などやって身に付けておこうと思います。
- 一人暮らしは自由で楽しそうだなと思いました。でも、自己管理をしないとイケないの、少しめんどくさそうだなと思いました。大学には小学校にはない施設が色々あって、自由に使えていいなと思いました。